ベネズエラ情勢（内政・外交：令和４年１１月）

１　内政

（１）　新型コロナウイルス感染症対策関連

	新規症例数	累計症例数	新規死者数	累計死者数	累計治癒数
1日	27名	545,926名	0名	5,820名	539,531名
2日	25名	545,951名	0名	5,820名	539,568名
3日	12名	545,963名	0名	5,820名	539,585名
4日	84名	546,047名	1名	5,821名	539,655名
5日	51名	546,098名	1名	5,822名	539,670名
6日	12名	546,110名	1名	5,823名	539,678名
7日	12名	546,122名	0名	5,823名	539,727名
8日	15名	546,137名	0名	5,823名	539,780名
9日	65名	546,202名	0名	5,823名	539,839名
10日	27名	546,229名	0名	5,823名	539,865名
11日	33名	546,262名	1名	5,824名	539,901名
12日	122名	546,384名	0名	5,824名	539,940名
13日	51名	546,435名	0名	5,824名	539,961名
14日	26名	546,461名	0名	5,824名	539,988名
15日	28名	546,489名	1名	5,825名	540,013名
16日	45名	546,534名	0名	5,825名	540,025名
17日	103名	546,637名	0名	5,825名	540,109名
18日	96名	546,733名	0名	5,825名	540,160名
19日	67名	546,800名	2名	5,827名	540,172名
20日	39名	546,839名	0名	5,827名	540,186名
21日	51名	546,890名	0名	5,827名	540,201名
22日	47名	546,937名	0名	5,827名	540,266名
23日	112名	547,049名	0名	5,827名	540,293名
24日	63名	547,112名	0名	5,827名	540,326名
25日	92名	547,204名	0名	5,827名	540,377名
26日	97名	547,301名	1名	5,828名	540,403名
27日	50名	547,351名	0名	5,828名	540,431名
28日	45名	547,396名	0名	5,828名	540,476名
29日	69名	547,465名	0名	5,828名	540,579名
30日	102名	547,567名	0名	5,828名	540,675名

（２） 与野党対話関係

（ア） ７日、ファリア外相は、与野党対話を直ちに再開するよう促すカナダ外務省スポークスマンの発言に対し、自身のツイッター上で、カナダ政府は本件交渉に関する干渉的意見を控えるべきであると発信した。

（イ） １１日、フランスで開催されたパリ平和フォーラムの枠組で、マクロン仏大統領主催によるホルヘ・ロドリゲス与野党対話体制側代表（体制側国会議長）及びヘラルド・ブライデ野党側コーディネーター並びにフェルナンデス亜大統領、ペトロ・コロンビア大統領及びヴィットフェルト・ノルウェー外相が出席するベネズエラ情勢に関する会合が開催された。

（ウ） ２６日、メキシコにて与野党対話が再開され、与党代表団及び野党統一プラットフォーム代表団並びにノルウェー代表が「ベネズエラ国民の社会的保護のための第２回部分的合意」への署名を行った。同文書では、教育、保健、食料、電力、豪雨災害対応の支援実施のため、国際金融システム上に凍結されたベネズエラの資産の一部を回収し、右資産運用のための基金設置を含む支援を国連に要請する旨合意された。

（エ） ２９日、エル・アイサミ経済担当副大統領兼石油大臣は、ラ・ロサ・シェブロン・ベネズエラ担当責任者と、ベネズエラ石油公社（PDVSA）との合弁事業推進及び石油増産のための契約締結に向け、会談を実施した。

（オ） ３０日、マドゥーロ大統領は、大統領府にて国内外プレスに対し、与野党対話再開について言及する記者会見を実施し、メキシコでの「ベネズエラ国民の社会的保護のための第２回部分的合意」に祝意を表した。また同合意に伴い、海外に凍結されている約２４０億米ドルの内、３０億米ドルにのぼるベネズエラ資産の凍結が解除されベネズエラ国民の生活改善につながる具体的プロジェクトに使用されると説明した。更に、米国財務省による米シェブロン・一般ライセンス更新を正しい方向性と評しつつも、ベネズエラ側の要求を満たす内容ではないと表明した他、石油会社 Citgo の債権者と名乗る人々の正当性を否定した。なお、石油供給に関しては、政治イデオロギーとは無関係に進めるとしている。

（３） 野党予備選挙に向けた動き

（ア） ９日、野党統一プラットフォームは、２０２３年に実施予定の予備選挙に向けた選挙委員会を設置した。

（イ） １５日、野党統一プラットフォームは、選挙委員会の委員長にヘスス・マリア・カサル氏、副委員長にマリア・カロリーナ・ウスカテギ氏を選出した。

（４） その他

（ア） １９日、グアニパ・グアイド側国会第一副議長が、トゥルヒージョ州で政権支持グループによって襲撃された。

（イ） ２１日、グアイド氏は、２０２３年１月５日にグアイド側国会開会式を召集する旨発表した。

２　外交

（１）　ベネズエラ・コロンビア二国間関係

（ア）　１日、マドゥーロ大統領は、ベネズエラを訪問したペトロ・コロンビア大統領と会談を実施し、二国間の統合強化に関する共同声明を発出した。

（イ）　２１日、コロンビア代表団と民族解放軍（ELN）は、カラカスにおいて、和平交渉を実施した。ベネズエラ政府は、代表団への歓迎を表明するとともに、コロンビアの完全な和平へ向けたイニシアティブ・行動に対して無制限の支援・庇護を行うことを表明した。

（ウ）　２２日、ベネズエラ・コロンビア友好議連が、歴史的関係を前進させることを目的として、設立された。

（２）　ギニアビサウ大統領一行のベネズエラ訪問

（ア）　１日、ヒメネス科学技術・教育・保健担当副大統領は、エンバロ・ギニアビサウ大統領のベネズエラ到着を歓迎した。

（イ）　２日、マドゥーロ大統領は、エンバロ・ギニアビサウ大統領と会談を実施し、経済、石油、空路コネクティビティ、保健、住居等の分野における戦略的協力を優先的に進める旨の共同声明を発出した。

（ウ）　２日、デルシー・ロドリゲス副大統領及びファリア外相は、エンバロ・ギニアビサウ大統領と、南南協力の枠組における関係強化に関して、会談を実施した。

（エ）　２日、ファリア外相は、エンバロ・ギニアビサウ大統領のシモン・ボリバル霊廟への献花式に同席した。

（オ）　２日、ファリア外相は、エンバロ・ギニアビサウ大統領の Cuartel de la Montaña（軍事博物館）訪問に同行した。

（カ）　２日、エンバロ・ギニアビサウ大統領は、西アフリカ諸国経済共同体代表として、ジョレンティ米州ボリバル同盟事務総長と、両機構の地域間協力強化に関して、会談を実施した。

（キ）　２日、ベラスケス運輸大臣は、Fidelis Forbs ギニアビサウ公共事業・住居・都市計画・道路網担当大臣と、二国間の空路コネクティビティの強化に関して、会談を実施した。

（ク）　３日、グティエレス保健大臣は、Dionisio Cumba ギニアビサウ保健大臣と、保健分野における協力強化に関して、会談を実施した。

（ケ）　３日、ファリア外相は、３日間のベネズエラ訪問を終えたエンバロ・ギニアビサウ大統領をマイケティア空港にて見送った。

（３）　マドゥーロ大統領の国連気候変動枠組条約第２７回締結国会議（COP２７）参加

（ア）　５日、マドゥーロ大統領は、シャルム・エル・シェイクで開催された COP２７参加のためにエジプトに到着した。

（イ）　７日、マドゥーロ大統領は、マクロン・フランス大統領に挨拶を行った。

（ウ）　７日、マドゥーロ大統領は、サントキ・スリナム大統領と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（エ）　７日、マドゥーロ大統領は、ブラウン・アンティグア・バーブーダ首相と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（オ）　８日、マドゥーロ大統領は、ハイレベル・セクションにおいて、南米諸国住民との共同行動によるアマゾン保護、及び気候的損失被害金融基金の創設を趣旨とする演説を行った。

（カ）　８日、マドゥーロ大統領及びペトロ・コロンビア大統領は、アマゾン地域の環境回復に向けたロードマップ

に関し、ハイレベル地域対話を主催し、サントキ・スリナム大統領及びタピア・エクアドル環境相の参加を得た。

（キ） ８日、マドゥーロ大統領は、ケリー米気候問題担当大統領特使に挨拶を行った。

（ク） ８日、マドゥーロ大統領は、コスタ・ポルトガル首相に挨拶を行った。

（ケ） ８日、マドゥーロ大統領は、ラマポーザ・南ア大統領と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（コ） ８日、マドゥーロ大統領は、モトリー・バルバドス首相と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（４） EUによる制裁延長

（ア） １２日、ベネズエラ政府は、EUによる１年間の制裁延長決定に対し、外務省コミュニケを通じて拒絶を表明した。

（イ） １５日、米州ボリバル同盟人民貿易協定（ALBA－TCP）は、EUによるベネズエラに対する制裁延長決定に対し、反対声明を発表した。

（５） デルシー・ロドリゲス副大統領のヨーロッパ・中東への外遊

（ア） １５日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、ハーグ国際司法裁判所へ出廷するため、オランダに到着した。

（イ） １７日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、ハーグ国際司法裁判所において、エセキボに対するベネズエラの領土主権を主張し、本件に関するガイアナによる一方的付託に異議を表明した。

（ウ） １７日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、Mame Mandiaye Niang 国際刑事裁判所副検事と、人種分野における各種テーマに関し、会談を実施した。

（エ） １８日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、バロバヤ国連ジュネーブ事務局長と、多国間アジェンダ及び現在直面している課題に関し、会談を実施した。

（オ） １８日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、グリンスパン UNCTAD 事務局長と、ベネズエラに対する一方的強制措置及びベネズエラの貿易・財政強化に向けた今後の協力関係促進に関して、会談を実施した。

（カ） １９日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、ムハンマド・ビン・ザーイド・アール・ナヒヤーン・アラブ首長国連邦大統領と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（キ） ２０日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、ワールドカップ開幕セレモニーに参加するため、カタールに到着した。

（６） サンパウロ・フォーラム

１８日及び１９日、カラカスでサンパウロ・フォーラムが開催され、５大陸２２か国の左派代表団の参加があった。１８日、マドゥーロ大統領は、サンパウロ・フォーラムの歴史的意義及び今後の展望に関し、演説を行った。

（７） その他

（ア） １日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Li Baorong 駐ベネズエラ中国大使と、両国の協力友好関係に関して、会談を実施した。

（イ） ３日、マドゥーロ大統領は、ベネズエラがアンデス共同体再加盟を目指す旨表明した。

（ウ） ４日、マドゥーロ大統領は、ベネズエラが国連の分担金支払を履行し、国連における投票権を回復させるた

めに、国連に対して凍結資産解放のために介入を行うよう要請した。

（エ） ４日、マドゥーロ大統領は、ゴンサルベス・セントビンセント及びグレナディーン諸島首相と、二国間友好関係強化に関して、会談を実施した。

（オ） ５日、ベネズエラは、ICC カーン検察官がベネズエラに対する捜査の再開を ICC 予審裁判部に請求したことを拒絶する旨表明した。

（カ） ８日、ペニャ・ラテンアメリカ・カリブ担当外務次官は、ラボルデ駐ベネズエラ・アルゼンチン大使の訪問を受け、アラグア州ラス・テヘリアスにおける地滑り被害に対する支援として、アルゼンチン政府からの２０万個の浄水タブレットの供与を受けた。

（キ） ９日、マドゥーロ大統領は、ニカラグア統一地方選挙の結果を受け、外務省コミュニケを通じてオルテガ大統領に祝意を表明した。

（ク） １０日、ゴルディルス新駐ノルウェー・ベネズエラ大使は、ハラルド５世ノルウェー国王に信任状を捧呈した。

（ケ） １０日、トルコを訪問したカルサディジャ全国選挙評議会長は、アッカヤ・トルコ最高選挙評議会長と、選挙協力に向けた覚書に署名した。

（コ） １１日、ロン北米担当外務次官は、テヘランで開催された国連憲章を擁護するフレンズグループ会合に出席した。同会合にてグループを構成する１９か国が、２０２３年行動プランの推進に合意した。

（サ） １１日、Tatiana Pugh 新駐ラオス・ベネズエラ大使は、シースリット・ラオス国家主席に信任状を捧呈した。

（シ） １２日、マドゥーロ大統領は、ペニャ・バチカン国務長官総務代行の訪問を受けた。

（ス） １２日、ビジェガス文化相は、ゴメス・ギニアビサウ文化相と、文化協力に関する覚書に署名した。

（セ） １３日、プラセンシア駐コロンビア・ベネズエラ大使は、コロンビアのサンタ・マルタ市で開催されたプエブラ・グループ第８回会合に招待オブサーバーとして参加した。

（ソ） １３日、ベネズエラ政府は、イスタンブールにおける爆破事件に関し、外務省コミュニケを通じてトルコ政府に弔意を表明した。

（タ） １４日、マドゥーロ大統領は、バチェレ元チリ大統領、コレア元エクアドル大統領、ドゥアルデ元アルゼンチン大統領、ラゴス元チリ大統領、ムヒカ元ウルグアイ大統領、ルセフ元ブラジル大統領、サンペール元コロンビア大統領などの大統領･首相･大使経験者などが名を連ねる UNASUR 再興に関する書簡を受け取った。

（チ） １５日、ヒメネス科学技術・教育・保健担当副大統領をヘッドとするベネズエラ代表団は、イラン・ベネズエラ・ハイレベル合同委員会会合において、科学技術プロジェクト推進に関する６つの覚書に署名した。

（ツ） １５日、サラサル駐ロシア・ベネズエラ大使は、Iván Ivánovich Mélnikov ロシア国家院第一副議長と、議会間での友好関係強化に関し、会談を実施した。

（テ） １６日、ベネズエラ政府は、サッカー・ワールドカップ開催国であるカタールに対する国際社会における広範な批判に関し、外務省コミュニケを通じて拒絶を表明した。

（ト） １６日、ファリア外相は、カラカスで UNESCO 創設７７周年記念式典を執り行った。１７日、同外相はカランサ UNESCO 地域支部長と、教育科学技術協力に関し、会談を実施した。

（ナ） １７日、ファリア外相は、ソルタニ駐ベネズエラ・イラン大使と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（ニ） １７日、３年前から閉鎖されていた駐セントルシア・ベネズエラ大使館が再開された。

（ヌ）　２１日、マドゥーロ大統領は、ビーズリー国連食糧計画事務局長と、協力強化に関し、会談を実施した。

（ネ）　２１日、ファリア外相は、グリーン・アンティグア・バーブーダ外相と、友好協力関係の強化に関し、会談を実施した。

（ノ）　２１日、ファリア外相は、サウラブ・インド東方担当外務次官と、二国間関係強化に関し、会談を実施した。

（ハ）　２２日、マドゥーロ大統領、ファリア外相、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官はそれぞれ、邱・ラテンアメリカ・カリブ担当中国特別代表と、二国間関係強化に関し、会談を実施した。

（ヒ）　２２日、ベネズエラ政府は、中国の河南省安陽において発生した工場火災に関し、中国政府及び国民に対する連帯を表明した。

（フ）　２３日、ファリア外相は、Filipe Zau アンゴラ文化・観光・環境相と、二国間関係強化に関し、会談を実施した。

（ヘ）　２３日、ロン北米担当外務次官は、Ngo Le Van ベトナム共産党外交委員会副委員長と、ハノイで開催された世界平和評議会第２２回総会において、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（ホ）　２４日、ファリア外相は、コートニー・ベリーズ外相と、二国間関係強化に関し、会談を実施した。

（マ）　２５日、マドゥーロ大統領は、ブリセーニョ・ベリーズ首相と二国間関係強化に関し会談を実施し、ペトロカリベの再興及びハリケーン・リサ被害援助に関し、合意した。

（ミ）　２６日、ベネズエラ外務省は、Vladímir Makéi ベラルーシ外務大臣の逝去に関し、哀悼の意を発表した。

（ム）　２９日、ファリア外相は、第１１３回国際移住機関（IOM）評議会会議で、ベネズエラの移民問題に関し、演説を行った。

（メ）　３０日、マドゥーロ大統領は、スケリット・ドミニカ国首相と、地域統合メカニズム及び二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（モ）　３０日、マドゥーロ大統領は、UNASUR 再興を目指した公開書簡（１１月１４日付）の賛同者の一人、サンペール元コロンビア大統領と、会談を実施した。

（ヤ）　３０日、マドゥーロ大統領は、江沢民・元中国国家主席の逝去に関し、外務省コミュニケを通じて哀悼の意を表明した。

（ユ）　３０日、ファリア外相は、Serguei Mélik-Bagdasárov 駐ベネズエラ・ロシア大使と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（ヨ）　３０日、ファリア外相は、ジョレンティ米州ボリバル同盟人民貿易協定（ALBA－TCP）事務局長と、１２月１４日からハバナで開催される第２２回首脳会議に向けて、準備会合を実施した。

（ラ）　３０日、ペニャ・ラテンアメリカ・カリブ担当外務次官は、ロペス・キューバ貿易・外国投資副大臣と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（了）